

ISPA保田1泊トレーニング

記:岡田 豪三

2010年5月29日(土)・30日(日)



保田港を出港YBMIに帰る

初の保田1泊クルーズは7名が参加して行われた。参加者は矢崎満夫、久保司、箕輪一郎、荒木富夫、川原英司、紅一点の宮下美智子、富山から豆川雅生が参加。私を入れて8名である。29日は朝からどんよりと曇り空、雨が降りそうな空模様だ。予報では1日中北東風、そこそこ風は吹くが夕方から雨が降るとのこと。

YBMIに0800集合、すぐにバンドオンをして0840出港。メイン、NO1ゼノアを揚げて0840にはセーリング開始。北東から10ノットのナイスウインド。6ノットくらいで走る。曇ってはいるが雨は降りそうもない。今日は大潮、午前4時半満潮、11時半干潮。強い引き潮に乗って行けそう。遊魚船が多く、それを避けながら観音崎へむける。観音崎に近づくにつれ風が弱くなるも艇速は落ちない。どうやら2.3ノットの潮に乗っているみたいだ。二つの目標物のベアリングを計って自艇の位置だしを試みる。観音崎まで2回の2ポイントフィックスをとり、観音崎でランニングフィックスに挑戦する。1030早くも観音崎通過。次は浦賀水道入口のグリーンブイを探して走る。曇っている割には視界がよい。出船入船、有漁船を避けながら本船航路をクローズリーチで横切る。横切ってからヘディングを浮島に向ける。



観音崎に向ける



小まめにジブトリムをする



北東の風、快調に走る

保田漁港は参加者の中でも二人が行ったことがあるがあまり覚えていないと言う。私も初めてなので双眼鏡で周りを見ながら進む。千葉県側に寄せると結構浅瀬が多そうだ。定置網もあり、刺し網もある。あつという間に金谷港まで来てしまう。保田港入口には右側に定置網があって左に平島が見えるはずだ。しかし定置網も平島も見えない。それもそのはず、1マイルまで近づかないと見えない。平島は本当にうすべったい岩の島で、遠くから見ると陸に同化して分からないのだ。定置網も分かりにくい。1200過ぎ保田漁港浮き桟橋に左舷付けドッキング。港はすいておりドッキングには楽であった。



そばまでこないと見えない平島



右には定置網、後ろは浮島



保田漁港入口

船でお昼を食べて、近辺を散策。と言ってもばんやの大きな建物が3棟あり、広い駐車場があるだけで何も無いところだ。第一ばんやにお風呂と宿泊施設、第二ばんやがメインのレストラン、第三ばんやは団体専用のレストランとなっており、土曜日でもあり超満員であった。すぐ脇にはひものなどのお土産やが並ぶ。イカの生干しといわしのみりん干しを焼いてもらい船に帰って、豆川さんが持ってきたワインで盛り上がる。盛り上がっている最中に雨が降り始める。

宿泊は「ばんやの湯」、風呂に入ってさっぱりしたところで夕食。夕食がすごい。さしみの船盛り、イカ1匹の煮物、金目鯛の煮付け、水炊きなど。新鮮で沢山の料理を腹いっぱい食べてみんな満足。みんな早めの就寝とあいりました。



全員揃ってカンパイ



豪華な刺身の船盛り



中央がばんやの湯



てんぷらと金目の煮付け



漁港にドッキング

翌朝、朝風呂を楽しむ人もいる。豆川さんと散歩に出る。漁港で定置網からの水揚げを見学して、漁港を一回りするも時間があるので保田駅まで歩くことに。さびれたと言ってしまう言い方が悪いが、なにもない町を歩くと、気持ちが落ち着いてくるのが分かる。散歩した後の朝食はまたおいしい。朝食の量が多いのにもびっくり。スタッフからご飯を食べるとおかずが食べられなくなるので注意される。朝からさしみの船盛りがある。取れたてであろう、身が引き締まっていて夕食のものよりおいしかった気がする。



上がったばかりの鯖



定置網の水揚げ



保田駅

0930、上空の雲が比較的速く流れているので、だんだん強くなるなと思いながら出港。北東風5ノット、すぐにメインとNO1ゼノアを上げ久里浜の発電所の煙突を目指す。本船航路に近づくにつれ風が強くなってきて快調に走る。クローズリーチから徐々にクロスホールドに。航路を横切って久里浜側になると真上りとなり、風も10ノットを越えてくる。全員ハイクアウトして走る。今日も南流の潮が2.3ノットあるので、艇速は6ノットを越えていても実際は4ノット代で走っている。猿島をアビームに見えるころ風は15ノットまで上がってくる。NO1ゼノアをNO3ジブに取り替える。風は時折17ノットを越える。ヘルムはヒール角度を一定に保つようにして走る訓練をする。なれないとなかなか難しい。1315YBMに到着。4時間半で帰ってきたことになる。全員満足してくれたようだ。



保田を就航して久里浜に向う



房総半島をバックに



のこぎり山

<完>